

総務文教常任委員会

平成29年度一般会計予算

主な内容	ふるさと仙北応援寄付積立金	1億1万円	ふるさと納税の積立金
	仙北市総合体育館建設事業費	542万円	基本設計の調査費
	総合給食センター建設事業費	4,689万円	基本・実施設計・地質調査の予算

平成29年度予算 主な質疑
**ここが知りたい
 議論のポイント**

質問 前年に比べてふるさと納税の寄付額が低調だった。どのようにして改善を図るのか。

答弁 平成29年1月現在で寄付件数は3,622件(前年比67、2%)、寄付金額は5,572万円(前年比75、3%)である。減少理由には、ふるさと納税の競争激化がある。

29年度の具体的な取り組みとしては、リピーター確保のための挨拶状の送付と、すかいらーくグループでのPRを年2回実施する他、高額な返礼品の対応強化、新商品の拡大、インターネット上の紹介ページの強化、市外からの来場者の多いイベントでの広報活動を行う予定である。

質問 総合体育館構想の進捗状況と財源内訳は。

答弁 平成28年に調査検討委員会が設立され、提言の取りまとめが行われている。マスタープランの中でも、床面積

や規模についても検討を行っている。財源は、合併特例債、スポーツ振興くじ、文科省関係の補助金を検討している。

合併特例債の期限を考えると、時間的余裕はあまりない状況である。

質問 総合給食センター建設で提示された資料は不備が多く不満を感じる。この資料で基本設計・実施設計まで本当に可能なのか。

答弁 今までに提示した資料を叩き台として、基本設計・実施設計を行っていきたい。

今後、計画立案の為の新たな資料等を作る予定である。

質問 建設予定地は、西木工業団地という説明だが、位置はどこか。

答弁 排水の関係で、西木工業団地の南端付近を想定している。



閉館される田沢湖郷土史料館

条例案等の審査

クニマス未来館関連等の合計4議案を否決

- 主な討論**
- ・クニマス未来館の業務や観覧料設定にさらなる検討が必要である。
 - ・市内の観光事業を展開する企業が「あきた」と名を冠した名称に変更した例などから、クニマス未来館にも「あきた」を冠することを検討し、修正すべきである。
 - ・田沢湖郷土史料館の展示物の行き先が全て決まってから閉館すべきであり、時期尚早である。
 - ・貸与した高校入学準備金の収納率を上げることが目的であれば、貸与者を変更する必要性はないと考える。今の改正を早急に行う必要はない。

JR角館駅前に角館庁舎建設を求める請願3件を不採択

- ・請願の趣旨は十分に理解できるが、私有地に建てるとなると財政的な面で難しい。
- ・賑わいのあるところに建設するという考えは賛成できるし、市有地で良好なところがあれば望ましいと思う。しかし、駅前には私有地であり建設が困難だと思う。

市民福祉常任委員会

平成29年度一般会計予算

主な内容

温泉休養施設管理運営費

241,244千円

西木温泉クリオンへのエレベーター設置及び更衣室増築工事。

障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業費補助金

234,844千円

社会福祉法人水交会が運営する障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業に対する仙北市分の助成。

医師確保対策事業費

28,088千円

医師等医療スタッフの招聘活動の推進。また、将来指定医療機関に勤務しようとする意志を有する学生に修学資金を貸与し、医師等医療スタッフの充実を図る。

ここが知りたい
議論のポイント

平成29年度予算主な質疑

質問 プール及びエレベーターの維持管理費はどのようになるのか。

答弁 クリオンの指定管理委託料が、プールやクリオンの建物と合わせ4,830万4,000円である。その中でプール分が1,172万円で、プール清掃等その他経費が含まれている。また、この額にエレベーター保守料66万円も含まれている。エレベーターはフルメンテナンス契約で月額5万5000円である。なお、プールの修繕については、今後10年間は大丈夫だろうという事であった。

質問 障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業費補助金に関連し、総事業費はどのくらいか。

答弁 総額12億8,823万9,480円で、構成市町の負担金が11億1,423万8,000円である。この内仙北市分は2億3,484万4,000円である。

質問 医師確保対策の結果がある。

ていない。両病院の院長とも連携しながら進めるべきではないか。

答弁 市長は医師確保対策の出張以外でも、その情報を得る為に、医療関係機関等に寄って来る事もある。医師確保の為だけにいく場合は、医療局あるいは両病院からも同行している。大学病院にいく場合でも、管理者、医療局関係者が同行し、院長が同行する場合もある。専門の医師が同行した場合が良い時には、同行をお願いしている。

質問 医師等修学資金貸付金について、貸付後のフォローはしっかりと行っているか。

答弁 現在年2回、貸付をしている医学生、看護学生等と交流会を行っている。

秋田大学の学生とは秋田市で、その他の大学の方々は夏休みに帰られた際に、様々な情報交換をして学生との交流を行っている。



一層の経営改善が求められる田沢湖病院

主な議案

平成29年度 仙北市病院事業会計予算

質問 田沢湖病院は一般会計からの基準外繰入として1億円の補助金がでている。来年度以降も繰入を続けていくのか。

答弁 今年度から病院運営安定化資金として一般会計から1億円をいただいている。運営安定化の一つは資金不足を解消する事で、現在は、一時借入金で5億円を超えており、その元金と利息が経営を圧迫している。医療局、両病院は一緒の会計になっており、田沢湖病院の資金不足比率は病院事業全体に影響を及ぼす状況になっている。これを回避したい思いで、1億円の繰入を5年間行うという経営安定化計画である。その中で経営改善を進めながら、なるべく早い段階で支援をいただかなくても良い形にしたい。

産業建設常任委員会

平成29年度 一般会計予算

主な内容	畜産環境総合整備事業費	2億333万円
	国の畜産整備事業により堆肥処理場を建設。年度内完成予定。	
	観光施設整備事業費	1,865万円
	玉川・抱返り渓谷歩道改修や駒ヶ岳山道改修設計仙北市分の負担金や瀧尻公衆トイレ移転整備	
	角館祭りの山行事公開展示事業費	16万円
	曳山の通年展示を検討する。	
冬期交通対策費	3億6,382万円	
市道等の除排雪により冬期間の適正な交通を確保する。		
落合球場整備事業費	1,974万円	
落合公園運動施設改修調査基本設計、給水管引き込み工事を実施		

質問 曳山の展示する場所は検討しているのか。

答弁 人の流れが、武家屋敷から外町に呼び込めるようにしたい。

質問 冬の除排雪関連予算が当初予算に計上された理由は。

答弁 例年、当初予算に計上していた。査定段階で9月補正予算対応となっていた。

質問 農業委員の資格や女性農業委員の数は。

答弁 認定農業者が過半を占めることとする。女性・青年農業委員のバランスを考慮し、女性は、最低でも一人は確保したい。

質問 推進委員は、誰が選ぶのか。

答弁 公募により、農業委員会が選ぶことになる。

質問 選考委員は、誰が選び、対象となる人は、委員会の回数。

答弁 市長が任命する。対象は、市外では、仙北地域振興局農林部、県農業会議、市内では農業委員経験者、農林部長経験者、農業委員会事務局長経験者を想定している。農業委員の任期が3年なので、任期内1回の開催予定である。

ここが知りたい
議論のポイント
平成29年度予算 主な質疑

仙北市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について

農業委員の選出方法が、公職選挙法に基づくものから市長が議会の同意を得て、任命する方法に改めることになる。農業委員は17名、推進委員は20名とする。

仙北市農業委員会委員候補者選考委員会条例について

推薦を受けた者、募集に応募した者のうちから候補者を選考するため、選考委員会を置く。
委員は7名以内、任期は3年とする。

請願を採択

市道神代西明寺線道路改良工事に関する請願書

通学児童の安全確保や地域住民の安全確保のため、歩道境界ブロックやグリーンベルトの設置のほか、側溝法面の拡幅工事、ガードレールなどの安全対策を求めるもの。



■解体予定の角館総合技能センター